

No. 1414

街に緑を

毎年10月は都市緑化月間です。いま、「都市に緑と公園を」をテーマに全国で種々な催しが行われています。千葉県千葉市では市民を対象にした植木市が10月4日開かれました。会場となった中央公園には好天に恵れたせいもあって約4,000人が訪れました。人気を呼んだのはウメ、モモなど苗木の無料配布。最近の植木ブームを反映してか2万本用意された苗木もたちまち品切れ。会場内に設けられた園芸相談コーナーには緑に関する疑問を持った市民がつけかけ、専門家の話を熱心に聞いていました。この日、市内の緑をテーマにした絵画、ポスターのコンクール入選作品20点も展示されました。やすらぎとゆとりを与えてくれる緑、緑に囲まれた健康で快適な環境づくりをめざしたいものです。

首都の花決まる

首都の花を選ぶ「第25回ミス東京コンテスト決選大会」が10月1日、東京、日比谷公会堂で華やかに行われました。東京全域の地区ミス46人がお揃いのカクテルドレスに身を包み出場、小倉智昭さんの司会でひとりひとり舞台の中央に進み、美と智性を競いました。東京都が後援で東京新聞が主催したこのコンテスト、審査には女優の日色ともゑさんをはじめ15人があたりました。一問一答形式で審査は進みます。いづれ劣らぬ美人ぞろいに審査は最後まで難航。結局ミス東京第2位には平野啓子さん（21才、府中市代表）と野村美果子さん（20才、稲城市代表）の2人が、晴れのミス東京第1位には早田祥子さん（20才、世田谷区代表）が選ばれました。ミス東京は向こう一年間東京都の花として国際親善や公式行事に出席、活躍することになっています。

カエルの会

— 神川奈・横浜 —

神奈川県・横浜市にあるライト・センター。このセンターでは目の不自由な人々のため、いろいろなボランティア活動が行なわれているが、中でも録音奉仕団「カエルの会」は全国でも珍しい奉仕団である。「カエルの会」では広報誌として自分たちの創作した「民話劇」などを中心に、テープ雑誌『かえるの声』を発行している。今回のテーマは横浜の山下公園に建てられた「赤い靴の女の子」に決った。脚本を担当することになった杉山まり子さんは、さっそく台本の執筆。地方色を出すため方言の使い方まで気を付かう。他の方は、読者、つまり目の不自由な人に本物の像を見てもらい、インタビューするなど皆んなで作業を分担する。さて、今日はスタジオで録音、演出する杉山さんも緊張の一瞬だ。録音、編集されたテープは、市内の目の不自由な人々へ郵送。テープ雑誌『かえるの声』は、なかなか好評、読者たちは次号を楽しみに待ちわびている。